

＜万博関連イベント体験会＞

バーチャル世界で近未来を感じよう～日本弁理士会はイノベーションを応援しています～
実施報告書

1. 開催日時：令和 5 年 10 月 29 日（日）13：00～17：00
2. 会 場：ギャラリーよみうり（大阪府大阪市北区野崎町 5-9 読売大阪ビル 地下 1 階）
3. 主 催：日本弁理士会
4. 後 援：特許庁、近畿経済産業局、大阪府教育委員会、
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
5. 参加人数：55 名
6. 参加対象者：大阪府の SSH（Super Science Highschool）指定校の生徒
7. 出展企業等：
 - （1）国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 未来 ICT 研究所
（〒651-2492 兵庫県神戸市西区岩岡町岩岡 588-2）
 - （2）株式会社栗本鐵工所
（〒550-8580 大阪市西区北堀江 1-12-19）
 - （3）株式会社パララボ
（〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 2-4-11 パシフィック天神 304 号）
8. プログラム：
 - （1）企業体験ブース（出展企業）
 - ・第 1 体験ブース 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)による XR 技術を用いた体験会
 - ・第 2 体験ブース 株式会社栗本鐵工所による XR 技術を用いた触覚体験及び XR ゴーグル体験
 - ・第 3 体験ブース 株式会社パララボによる XR 技術を用いた仮想空間体験
 - (i) 13：00～15：00 （定員 28 名） ※第 1～第 3 体験ブース共通
 - (ii) 15：00～17：00 （定員 27 名） ※第 1～第 3 体験ブース共通
 - （2）弁理士ブース
 - ・XR 体験を通しての意見交換会（弁理士による知財視点のレクチャー、講師：弁理士 計 2 名）
 - (i) 13：00～17：00
 - （3）その他
 - ・日本弁理士会マスコットキャラクター「はっぴょん」及び 2025 年日本国際博覧会協会の公式キャラクター「ミャクミャク」との記念撮影・ふれあい
 - (i) 第 1 部 12：50～13：00
 - (ii) 第 2 部 14：50～15：00
 - (iii) 第 3 部 16：50～17：00
9. 内 容：

この体験会は、2025 年の大阪・関西万博に向けて、技術イノベーションを次世代に引き継ぐべく、子ども達に身をもってその魅力を感じてもらうために開催しました。技術体験を通じて、子ども達は単なる学習以上に貴重な体験をし、夢やアイデアを具現化する未来社会のデザインのきっかけとなることが期待されます。さらに、技術体験会の模様を収めた動画を教育機関等に YouTube 配信することで、万博への参加の機運を高めると共に、技術の進歩を知的財産の面から支える弁理士の存在をアピールし、弁理士の認知度を向上させることを目指しています。

体験会には、大阪府教育委員会様のご協力によって、大阪府のSSH指定校から、多くの参加者にご出席頂くことができました。参加者には、日本弁理士会と日本国際博覧会協会の各キャラクターとふれあっていただき、出展企業の各ブースでXR技術を体験してもらいました。また、出展企業のブースとは別に、弁理士ブースも1つ設けていました。弁理士ブースでは、弁理士と参加者がXR体験を通じての意見交換会（弁理士による知財視点のレクチャー）を行いましたが、参加者に、熱心に聴いていただくことができました。また、途中で帰る参加者は皆無で、体験会は盛況でした。この体験会により、参加者の万博への興味を引き出し、万博を盛り上げるとともに、弁理士制度の認知度を向上することができたものと考えます。

また、この体験会の内容を教育機関に動画配信した際には、子供たちの関心を引きやすく、万博に対する子供たちの興味を一層高めることが期待されます。



＜体験会の開式の様子＞



＜キャラクターとのふれあいの様子＞

（情報通信研究機構（NICT）ブースの概要）

情報通信研究機構のクロスリアリティシステムは、専用のゴーグルと全天球カメラを使った現実と仮想世界の融合技術です。ゴーグルを装着すれば、撮影している映像の上に、建築物などのデータを重ねて表示することができ、仮想世界の物を、掴んで動かしたり、大きさを変えたりできます。

（栗本鐵工所ブースの概要）

栗本鐵工所の「感触提示技術」は、モノの感触を測定し、表現する技術です。「感触収集装置」でデータを集め、スマホに取り込み、Bluetoothで繋ぐと、硬さや抵抗感などが再現されます。XRゴーグルを通すと、視覚と合わせた触覚を体験できます。



＜情報通信研究機構（NICT）ブースの様子＞



＜栗本鐵工所ブースの様子＞

（パララボブースの概要）

パララボが紹介したのは、複数人で旅ツアー気分を味わえるVR技術です。自分のアバターを作成し、仮想世界へ出発します。ゴーグルを装着すると、視覚的な現実世界が遮断され、迫力と没入感を感じられます。モニターで見る映像にも一工夫があり、メタバース内のカメラをスイッチングして、複数の視点を持つことでゴーグル未装着でも十分楽しめます。

（弁理士ブースの概要）

日本弁理士会のブースでは、XR体験を通しての意見交換会が行われました。技術について知的財産の視点から説明するとともに、技術をどのように保護していくのか、また、知的財産による開発資金の調達方法など、技術イノベーションと特許等の知的財産との関りを、弁理士から説明しました。



＜パララボブースの様子＞



＜弁理士ブースの様子＞

以上